

「かみがた嘸の会」

はなし

5月30日

記・三浦三千春（近畿教会・桜井ルーテル教会補教師）

露の五郎兵衛「神がた」落語会



露の五郎兵衛さん(右)と豊竹英大夫さん

演芸資料館は、

吉本新喜劇が上

演されるグラン

下花月の向かい

で、いわはお笑

いのメツカで公

演。いつもは200

人規模の公演が

多いホールで今

回、落語ファン、

教会関係者ら約

310人が詰めかけ盛況だっ

た。ゴスベル文楽の豊竹

英大夫さん（豊竹英大夫）（アツセン

ブリー・神愛キリスト教

会員）も応援に駆けつけ、

イエス様を信じたいきさ

つなどを対談した。

五郎兵衛さんは、新作

かみがた（神方）嘸「よ

みがえりの息子」を講座

にかけた。これはルカ15

章、放蕩息子（おどろきこ）の翻案。年

輪を重ねた上方落語家

の、ひょうひょうとし

たとほけた味わいそのま

まに、蕩尽息子と親父を

演じ切った。財産を使い

尽くす場面も、船をしつ

らえての芝居見物など、

江戸のイキな嘸として

表現され、キリスト教も

のにおりがちな説教臭さ

の全くない嘸でありなが

ら、赦しの恵みの絶大さ

を心に残した。涙をぬぐ

いながら聴く聴衆の姿も

あった。

対談で五郎兵衛さん

は、今後の新作につい

て、「たまたまシャレに

作るから、いいのができ

る。凝り固まってしまた

らイキなことありません

ので」とこたえた。「五

郎兵衛は未完成のまま終

わつたと、死後言われた

い。だから新しいことに

挑戦したい」と、永遠の

生命を与えられた者の希

望をはしなくも語った。

英大夫さんとの出会いと

なったゴスベル文楽観劇

の感想を、「あらわれ

出でたるイエス・キリス

トとは、洒落たモンが

できたなと思いました」。

英大夫さんは「そりや、

最高に嬉しいですわ」と

応じていた。

レポート

5月30日 大阪・難波
のワツハ上方のホールで
露の五郎兵衛さん（世界
福音・栗東キリスト教会
員）が、聖書新作落語を
披露する「かみがた嘸の
会」をした。五郎兵衛さ
んは落語界の大御所。

ワツハ上方（府立上方
かみがた（神方）嘸「よ

対談で五郎兵衛さん

最高に嬉しいですわ」と